

林野庁 近畿中国森林管理局

箕面森林ふれあい推進センター・こだま通信



「オオクワガタの棲める森づくり」防鹿ネットの補強作業

4月14日(日)箕面国有林(エキスポ'90みのお記念の森)においてNPO日本森林ボランティア協会の活動日に、総勢35名が参加して「オオクワガタの棲める森づくり」箇所の防鹿ネットの補強とイバラ類の取り除きを行いました。平成22年3月に、同協会により周囲に防鹿ネットを設置しましたが、ニホンジカがネットを飛び越えたり、ネットと地面との隙間から進入し、植栽したクヌギ・コナラなどの植栽木が食害を受けました。このため、今回ネットを高くするため二段に張ったり、ネット下部をペグ(杭)で固定するなど侵入防止の強化を図りました。当面は効果を見ながら更に対策を進めていきます。植えた苗木も、大きくなりつつありニホンジカの食害から守れば、数年で人の背を超えるほどに育つものと思います。また、植栽地には、太陽の光を遮る高木がないことから、ナガバモミジイチゴやクマイチゴ、サルトリイバラなどトゲの多い多年草が増え、植栽木の生長が阻害されます。このため、トゲに刺されながらも懸命に、これらの植物の取り除きを行いました。

参加した方々もじんわり汗をかくくらいの気持ちよい気候の中で、作業も順調に進みケガも無く無事終了することができました。

このあたりは市街地よりも気温が低いことから、植栽地の周辺に自生するエドヒガンの大木も満開でした。



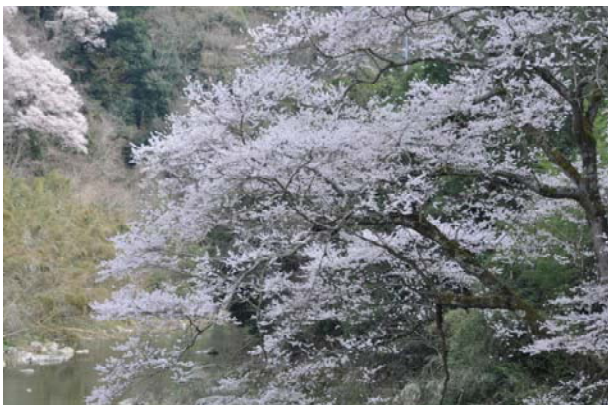
シカの飛び越え防止のネット張り



イバラ類が繁茂、トゲにさされながら熱心に除去

北摂地域のエドヒガン

前号で紹介したエドヒガンを求めて3月末の週末、川西方面へ出かけました。水明台、黒川などでちょうど見頃でした。箕面を含む北摂地域には、多く自生しており、3月下旬から4月上旬にかけ、山々では見頃となります。来年も、エドヒガンなどのサクラが楽しみです。



川西市水明台のエドヒガン



川西市「黒川・サクラの森」のエドヒガン

箕面森林ふれあい推進センター職員紹介
メンバーが、新しくなりました。(25年4月)よろしくお願いします。



森林整備部企画官（自然再生担当）
渡部 哲治

この4月から主に国有林内での自然再生について担当することになりました。

特にニホンジカをはじめとする野生鳥獣の生息数の増加などによる国有林内での深刻な森林被害からの自然再生は代表的な取り組みです。これから、このような損なわれた自然環境を取り戻すための自然再生の取り組みほか、国有林をより身近な存在として利用、協力してもらえよう、ふれあいセンターとともに地域の皆さんと連携を図りながら、積極的に取り組んでいきたいと考えています。

宜しく申し上げます。



箕面森林ふれあい推進センター自然再生指導官
瀧岡 忠雄

4月1日付けで自然再生業務を担当することとなりました。

私の受け持つ大きな業務として「森林の調査隊！！フォトコンテスト」・「大杉谷国有林におけるニホンジカの生息状況などの調査業務」があります。

今年のフォトコンテストについては、新たに「森林に生息する動植物（植物、昆虫、動物）部門」を加え、子供達にも身近に森林を感じていただき、気軽に参加出来る企画で開催を予定していますので、皆様にも、応募して頂きたいと考えていますので、よろしくお願いします。



林野庁 近畿中国森林管理局
箕面森林ふれあい推進センター(4月1日より組織名称が変更となりました。)

箕面森林ふれあい推進センターでは、主に京都、大阪の都市周辺の国有林野をフィールドとして、NPO、ボランティア、地域住民等による自主的な森林づくり、里山の整備、自然再生活動、森林環境教育などへの技術指導等の支援に取り組んでいます。

TEL:06-6881-2013/FAX:06-6881-2055

URL:http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo_fc/index.html

〒530-0042 大阪市北区天満橋一丁目8-75 近畿中国森林管理局3F